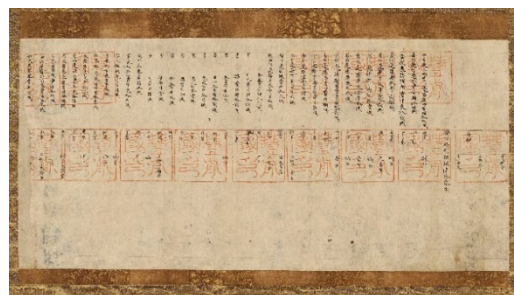


中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】								
・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2) ・ I-1-(5)-① (東京国立博物館) 1)、2)、3)								
担当部課	学芸研究部列品管理課	事業責任者	課長 沖松健次郎					
【実績・成果】								
(4館共通)								
1) 国内外の博物館等116機関に1,075件の作品を貸与した。								
2) 文化財活用センターと東京国立博物館は共同で東京国立博物館収蔵品貸与促進事業を実施した。国内の博物館等6機関に84件の作品を貸与した。 (東京国立博物館)								
1) 長崎歴史文化博物館等の平常展示のため、年度を越えた長期貸与を実施した。								
2) 海外の博物館等4機関に19件の作品を貸与した。								
3) 文化財活用センターと共同で東京国立博物館収蔵品貸与促進事業を実施し、6機関に84件の作品を貸与した。								
【補足事項】								
(4館共通)								
2) 日本およびアジアの歴史・文化への理解を進めるとともに、地方創生および観光振興に寄与することを目指し、各開催館までの往復輸送費・保険料・職員出張費を負担する「東京国立博物館収蔵品貸与促進事業」を実施した。大規模貸与として沖縄県立博物館・美術館と鹿児島県歴史・美術センター黎明館、小規模貸与として刈谷市歴史博物館ほか4機関に東京国立博物館収蔵品を貸与した。 (東京国立博物館)								
2) 中国国家博物館に10件、大韓民国リウム美術館に2件を貸与した。								
3) 当館収蔵品貸与促進事業のうち大規模貸与事業として沖縄県立博物館・美術館(会期:10月14日～12月4日)に28件、鹿児島県歴史・美術センター黎明館 令和4年度黎明館企画特別展「茶の湯と薩摩」(会期:9月22日～11月6日)に23件を貸与したことをはじめ、小規模貸与事業として刈谷市歴史博物館 企画展「伊勢物語とかきつばた」(会期:4月23日～6月5日)に2件、島根県立古代出雲歴史博物館 企画展「ハニワの世界へようこそ」(会期:7月1日～8月28日)に9件、足利市立美術館「あしかがの歴史と文化 再発見!—鎌倉殿の義弟 足利義兼の祈り 大日如来坐像—」(会期:7月30日～10月10日)に16件、滋賀県立安土城考古博物館 令和4年度秋季特別展 開館30周年記念「里帰り!日本最大の銅鐸 太古の響きを安土の地で」(会期:10月8日～11月20日)に6件を貸与した。 を貸与した。								
【評価指数】項目	4年度実績	目標値	評価	経年変化	30	元	2	3
貸与件数	1,075件	-	-		1,355	954	806	990
うち国内の貸与件数	1,056件	-	-		1,225	864	794	969
うち国外の貸与件数	19件	-	-		130	90	12	21
【年度計画に対する総合評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評価: B	国内の博物館等の112機関に1,056件、海外の博物館・美術館の4機関に19件の収蔵品を貸与し、国内外の展覧会の開催に協力した。 貸与促進事業は、6機関に84件の収蔵品貸与を行い、各地域ゆかりの文化財の展示に貢献した。							
【中期計画記載事項】								
収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評価: B	新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、中期計画に基づき、国内外の博物館等の出品要請に応じて、貸与を実施した。 5年度以降も文化財活用センターとの連携を深めるとともに、有意義な展覧会に貸与を実施し、国内外の博物館活動に寄与できるよう、協力依頼に積極的に対応する。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】								
・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)、(京都国立博物館) 1)、2)								
担当部課	学芸部	事業責任者	列品管理室長 羽田聡					
【実績・成果】 (4館共通)								
1) 国内の70機関(機関は延べ件数)に対し、計263件の収蔵品を貸与した(館蔵品:123件、寄託品:140件)。								
2) 263件のうち、4年度国立博物館収蔵品貸与促進事業での収蔵品貸与は1件である。 (京都国立博物館)								
1) 京都国立近代美術館及び大阪市立美術館の平常展示のため、引き続き館蔵品を9件長期貸与した。								
2) 宮崎県立西都原考古博物館、熊本県教育委員会、京都大学総合博物館の計3館との間で考古資料の相互貸借事業を実施した。								
【補足事項】 (4館共通)								
2) 収蔵品の貸与に際しては、貸出先の保管、警備体制、虫害対策、展示環境等を総合的に判断しながら、貸出先の要望に応じた。								
								
京都府京都市檉原盆山出土 瓦経			宮崎県宮崎市大淀出土 横瓶			熊本県菊池郡大津町真木祝屋敷遺跡出土 銅戈		
【定量的評価】項目	4年度実績	目標値	評価	経 年 変 化	30	元	2	3
貸与件数	263件	-	-		289	348	286	314
うち国内の貸与件数	263件	-	-		274	347	286	314
うち国外の貸与件数	0件	-	-		15	1	0	0
【年度計画に対する総合評価】 評価: B				【判定根拠、課題と対応】 年度計画に基づき、収蔵品の状態と貸出先の環境を勘案しながら、国宝・重要文化財を含む収蔵品を、国内の博物館に貸与した。また、4年度も考古資料の相互貸借事業を実施し、出土地の地元にある博物館での展示・公開を実現することができたため、B評価とする。				
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価: B				【判定根拠、課題と対応】 収蔵品の保存状態や展示期間を十分に勘案した上で、貸出先の保管・展示環境も考慮し、可能な範囲で要請に応じており、中期計画を順調に遂行できている。更に海外への収蔵品貸与については、新型コロナウイルスの影響により実現はできていないものの3年度より継続して協議を重ねており、また打診等も来ていることから、5年度以降も可能な限り要請に応じて協力していきたい。				

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信																																											
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与																																											
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)																																												
担当部課	学芸部			事業責任者	部長 吉澤悟																																							
【実績・成果】 (4館共通) 1) 収蔵品と寄託品を国内合わせて26の機関に計113件の貸出を行った。 2) 文化財活用センターの国立博物館収蔵品貸与促進事業による貸与はなかった。																																												
【補足事項】 (4館共通) 1) 収蔵品・寄託品の貸与 ・ 貸与先26件の内訳 国立3件、公立17件、私立6件、海外0件 ・ 貸与作品113件の内訳 国宝13件(館蔵品4件、寄託品9件) 重要文化財19件(館蔵品8件、寄託品11件) その他81件(館蔵品64件、寄託品17件) 貸与した館蔵品76件の内訳 絵画15件、彫刻2件、書跡8件、工芸25件、考古24件、建築2件 貸与した寄託品37件の内訳 絵画16件、彫刻6件、書跡5件、工芸5件、考古5件 写真上：大谷大学博物館 特別展「仏法東帰」貸与、 国宝 金光明最勝王経 卷第三(当館所蔵) 写真下：九州歴史資料館 特別展 「京都平野と豊国の古代」貸与、 国宝 豊前国仲津郡丁里大宝二年戸籍断簡 (当館所蔵)																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【定量的評価】項目</th> <th>4年度実績</th> <th>目標値</th> <th>評価</th> <th>経年変化</th> <th>30</th> <th>元</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸与件数</td> <td>113件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td>134</td> <td>136</td> <td>107</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>うち国内の貸与件数</td> <td>113件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td>109</td> <td>133</td> <td>107</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>うち国外の貸与件数</td> <td>0件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td>25</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>									【定量的評価】項目	4年度実績	目標値	評価	経年変化	30	元	2	3	貸与件数	113件	-	-		134	136	107	252	うち国内の貸与件数	113件	-	-		109	133	107	252	うち国外の貸与件数	0件	-	-		25	3	0	0
【定量的評価】項目	4年度実績	目標値	評価	経年変化	30	元	2	3																																				
貸与件数	113件	-	-		134	136	107	252																																				
うち国内の貸与件数	113件	-	-		109	133	107	252																																				
うち国外の貸与件数	0件	-	-		25	3	0	0																																				
【年度計画に対する総合評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 新型コロナウイルス感染症の流行の情勢も影響して、貸与希望館数は控え目であったが、国宝・重要文化財が合計32件貸し出されるなど、各地の展覧会へ寄与した。特に、九州歴史資料館への「豊前国仲津郡丁里大宝二年戸籍断簡」貸与のような、文化財の当初の所在地への貸し出しが複数あり、地域の文化振興に寄与することが出来たことから、年度計画を実行できたと判断される。																																									
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。																																												
【中期計画に対する評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 相手機関の貸し出しの要望にできる限り応じつつ、作品のコンディションも保持するため、先方の展示・収蔵環境の改善についてアドバイスを行う、展示作業に当館職員が協力するといった条件を付した上で貸し出しを許可するなど、柔軟な対応を行い、各地の展示施設の展覧会の実施に貢献することができた。以上から、中期計画を着実に遂行できているといえ、B評価とした。5年度以降も、貸与先の状況など十分に審議を重ねつつ、要請に応じていけるよう努めていきたい。																																									



中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信								
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与								
【年度計画】	・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、 2) ・ I-1-(5)-① (九州国立博物館) 1)								
担当部課	学芸部文化財課	事業責任者	課長 白井克也						
【実績・成果】	国内延べ24機関に延べ128件の収蔵品を貸与した。(東京国立博物館からの長期管理換品を含む。巡回展等で複数館に貸与した場合は、それぞれ機関数と収蔵品件数をカウントしている。) 所蔵品の貸与件数：延べ99件 (うち重要文化財7件) 寄託品の貸与件数：延べ29件 (うち重要文化財1件、東京国立博物館からの長期管理換品を含む)								
【補足事項】	(九州国立博物館) 貸与先機関と貸与件数は下記のとおりである。 (※印は文化財活用センターが実施する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」対象事業。) 1) 国内の貸与先機関 ・ 国立機関 東京国立博物館18件 (16件 (3年度から4年度にかけて貸与) / 2件 (台東区立書道博物館と共催)、国立アイヌ民族博物館1件 ・ 地方公共団体及び公立博物館・美術館 (福岡県内) 甘木市歴史資料館3件 (長期貸与)、伊都国歴史博物館5件 (長期貸与3件 / 通常貸与2件)、小郡市埋蔵文化財センター5件 (長期貸与)、求菩提資料館2件 (長期貸与)、九州歴史資料館5件 (福岡県外) 岡山県立美術館13件、あいち朝日遺跡ミュージアム1件、※鹿児島県歴史・美術センター黎明館7件、鹿児島県上野原縄文の森19件、山口県立美術館4件 (根津美術館と共催)、神戸市立博物館2件、※沖縄県立博物館・美術館22件、長崎歴史文化博物館3件、都城島津邸2件、大分県立歴史博物館2件、台東区立書道博物館に2件 (東京国立博物館と共催)、山梨県立博物館に6件 ・ 私立博物館・美術館及び私立団体 公益財団法人古都大宰府保存協会大宰府展示館1件、根津美術館4件 (山口県立美術館と共催)、五島美術館1件 2) 海外の貸与先機関 貸与なし。								
【定量的評価】項目	4年度実績	目標値	評定	経年変化	30	元	2	3	
貸与件数	128件	-	-		80	50	36	132	
うち国内の貸与件数	128件	-	-		80	44	35	130	
うち国外の貸与件数	0件	-	-		0	6	1	2	
【年度計画に対する総合評価】 評定：A	【判定根拠、課題と対応】 3年度と同等の貸与先件数・収蔵品貸与件数となった。文化財活用センターが実施する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」において、2機関・29件の貸与を行い、当該2機関の展覧会開催に寄与することができた。 当館収蔵品の充実化、ColBaseや当館収蔵品データベースの拡充に伴い、4年度まで当館からの貸与実績がなかった機関からの貸与依頼が増加した。各地域におけるゆかりの当館収蔵品の活用、各機関の展覧会の充実化に貢献できた。 また、福岡県内の博物館・資料館への長期貸与を行い、福岡や九州の文化財の魅力の地域発信に寄与することができた。 以上、重要文化財8件を含む128件の文化財を適切に貸与し、各博物館・美術館の展覧会の充実化に貢献できた。年度計画を大きく上回る成果となったため、A評定とした。なお、新型コロナウイルスの影響のためか、国外機関からの出品依頼はなかった。								
【中期計画記載事項】	収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実へ寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評定：A	【判定根拠、課題と対応】 当館博物館科学課環境保全室とともに出品要請機関の状況等を総合的に勘案して、適切に貸与を実施した。当館収蔵品の貸与を通じて、国内の博物館・美術館の展覧会の展示の充実へ大きく寄与することができた。 「国立博物館収蔵品貸与促進事業」での貸与や、4年度まで当館が貸与しなかった機関への貸与、また地域の博物館・資料館への長期貸与等を通じて、国内の博物館・美術館の展覧事業に協力することができたことから、A評定とした。 5年度も引き続き、国内外への収蔵品貸与を通じて、当館の収蔵品の魅力を広く発信していく。								



重要文化財「徳有鄰」印

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】								
<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1-(5)-② (4館共通) ・ I-1-(5)-② (東京国立博物館) 								
担当部課	学芸研究部	事業責任者	部長 救仁郷秀明					
【実績・成果】								
(4館共通)								
1) 公私立博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等に対し、122件の援助・助言を行った。								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力 45件 文化庁、公益財団法人日本博物館協会、東京都立上野高校、公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団、国立美術館 ほか ・ 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 14件 宗教法人 平等院、一般社団法人アートパワーズジャパン、NHK ほか ・ 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 18件 永青文庫、明治大学博物館、宮内庁三の丸尚蔵館、石山寺 ほか ・ 講演・セミナー・審査等での協力 19件 公益財団法人三重県文化振興事業団、福岡県立美術館、公益財団法人日展、一般社団法人 照明学会 ほか ・ 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 26件 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館、松戸市立博物館、大分県立歴史博物館、茨城県立歴史館 ほか 								
<p>また、3年度より新たに保管文化財に対する特殊な機材を用いた計測、非破壊による材質・成分等の調査、その他、特別観覧に該当しない撮影による調査等の外部からの調査協力依頼に対し、調査協力をする事業を開始したが、4年度も引き続き行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京国立博物館保管文化財の調査協力 6件 (件数については参考値とし、援助・助言件数には含めない) 京都府立大学、宮内庁書陵部陵墓課、富山大学、群馬県立歴史博物館、大阪大学 ほか (東京国立博物館) 								
1) 新規貸与館に対する環境調査を実施し、指導助言を行った。								
環境調査を実施した新規貸与館は、10館。(参考：文化財活用センター貸与促進事業関係 2件)								
【定量的評価】項目	4年度実績	目標値	評定	経年変化	30	元	2	3
援助・助言等の件数	122件	-	-		131	139	78	98
【年度計画に対する総合評価】		【判定根拠、課題と対応】						
評定：B		<p>4年度はコロナ禍における活動制限の緩和の影響もあり、3年度に比べると件数は増加した。例年同様に、公私立博物館・美術館で開催される展覧会や運営等についての援助や助言、新規貸与館への環境調査を適切に行うことができた。</p> <p>また、3年度より開始した公私立博物館・美術館、大学、その他研究機関の要請に応じた保管文化財の調査協力も引き続き行うことができた。</p>						
【中期計画記載事項】								
国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等を図る。								
【中期計画に対する評価】		【判定根拠、課題と対応】						
評定：B		<p>中期計画の2年目となる4年度は、活動制限の緩和に伴い展覧会事業が再開する中で、援助・助言の件数もコロナ禍前の水準に戻りつつある。その中で、技術的・専門的な援助・助言を適切に実施することができた。</p> <p>5年度以降も、感染拡大防止に配慮しつつ、可能な限り積極的に対応し、文化財の保存活用に寄与していきたい。</p>						

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】								
・ I-1-(5)-② (4館共通) 1)、(京都国立博物館) 1)								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 尾野善裕					
【実績・成果】 (4館共通)								
1) 行政、公立博物館等の各種委員等への就任などを含め、博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を131件実施した。								
・ 文化庁、地方公共団体、公立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む）								
文化庁文化審議会（文化財分科会）など官公庁の各種委員会への助言・協力								
京都府、大阪府、大阪市、滋賀県、三重県、静岡市など地方公共団体の文化財保護審議会委員等として助言など								
・ 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言								
姫路市立美術館、石水博物館などの国内の博物館・美術館等への展示助言など								
・ 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導								
「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」壁画ワーキンググループ（材料調査班）専門委員として協力など								
・ 講演・セミナー・審査等での協力								
京都大学、京都工芸繊維大学、立命館大学、同志社女子大学、國學院大學など、大学の非常勤講師として協力など								
・ 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言								
京都国立近代美術館、兵庫県立考古博物館への協力など								
ウェブ会議システムを活用し、国際研修としてUNESCOチェアITC-DRMCHに協力し、京都国立博物館の展示・収蔵環境、減災対策などの安全対策への取り組みについて情報発信を行った。また知恩院との連携研究である展示・保管環境に関する調査・研究は、昨年度のデータ解析から、今年度新たに照度や空気質対策を実施し効果が得られた。文化財資料の保管環境に関する助言として、4年度は立像2軀について転倒防止対策に関する研究を実施し、社寺等への助言を行った。								
(京都国立博物館)								
1) 調査・国際連携室長 降矢哲男、企画室長 山川暁、保存修理指導室主任研究員 福士雄也を中心に、各分野研究員と畠山記念館学芸員とも共同で調査研究を行った。								
【補足事項】 (4館共通)								
1)								
・ 文化財の展示・保管環境に関する指導・助言：知恩院、三仏寺、念仏寺								
・ 文化財の展示・保管環境・安全対策に関する講演・研修などでの協力：UNESCOチェアITC-DRMCH								
・ 文化財の調査・修理に関する指導・助言：林原美術館、長浜市、京都府、京都市、丸亀市、鳥取県、染技連								
【定量的評価】項目	4年度実績	目標値	評定	経年変化	30	元	2	3
援助・助言等の件数	131件	-	-		140	152	137	129
【年度計画に対する総合評価】 評定：B				【判定根拠、課題と対応】 国内の様々な機関の要請に対し、職員が各々の専門性に応じて、131件の援助・助言・指導及び協力を行った。 文化財防災に関して、引き続き多国籍の研究者へ向けた発信をし、さらにシミュレーションによる転倒防止対策に関しても成果を発表することができた。各国の状況によるが、多様な防災システムに関する情報発信が必要といえる。				
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等を図る。								
【中期計画に対する評価】 評定：B				【判定根拠、課題と対応】 4年度も3年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響があり、国外機関への指導等はなかったが、援助・助言等の件数としては多くの要請に応じることができたため、中期計画を順調に遂行できている。 引き続き、文化財防災センターとの連携協力を図るとともに、当館の防災対策の取り組みについても、国内外研究者との情報交換・人的交流を通じて広く発信していく。さらにシミュレーション等で得られたデータから、減災対策に関する基礎的研究を継続し、簡便に実施できる対策について検討していく。				

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】公私の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。 ・I-1-(5)-②(4館共通)1)								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 吉澤悟					
【実績・成果】 (4館共通) ・援助・助言を67件実施した。 ・以下の展覧会に学術協力として援助・助言を行った。 渋谷区立松濤美術館 「SHIBUYAで仏教美術—奈良国立博物館コレクションより」4月9日～5月29日 松本市美術館 御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物—再現模造にみる天平の技—」4月21日～6月12日 北海道立近代美術館 「聖徳太子1400年御遠忌記念 国宝・法隆寺展」9月3日～10月30日 東北歴史博物館 東日本大震災復興祈念 特別展「悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展」5年4月15日～6月11日								
【補足事項】 以下のとおり、援助・助言を行った。 ・文化庁、地方公共団体、公立博物館等の文化財関係事業に対する助言・協力 19件 奈良県、文化庁、宮内庁、鳥取県、三重県、山口市教育委員会ほか ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 7件 渋谷区立松濤美術館、松本市美術館、北海道立近代美術館、東北歴史博物館、三重県総合博物館、栃木県立博物館、群馬県立歴史博物館 ・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 16件 法隆寺金堂壁画保存活用委員会、国宝智証大師関係文書典籍保存活用専門委員会ほか ・講演・セミナー・審査等での協力 16件 奈良女子大学、京都府立大学、神戸大学ほか ・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 9件 大和文華館、松柏美術館、日本工芸会ほか								
								
北海道立近代美術館 国宝・法隆寺展				渋谷区立松濤美術館 「SHIBUYAで仏教美術—奈良国立博物館コレクションより」講演				
【定量的評価】項目	4年度実績	目標値	評定	経年変化	30	元	2	3
援助・助言等の件数	67件	-	-		71	66	50	68
【年度計画に対する総合評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 国内各地域の様々な館の要請に対し、近年の水準と比較して遜色のない件数に応じることができた。中でも、他館の要請による当館のコレクション展の外部開催は新たな試みであり、他館の展覧会に対して作品選定から展示指導まで積極的に援助を行うことができ、着実に年度計画を実行できた。							
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等を図る。								
【中期計画に対する評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 4年度も、新型コロナウイルスの影響で制約がある中、国内外の博物館や地方公共団体の要請に応じ、前年度と同程度の件数の指導・助言を行うことができた。この点から中期計画を遂行できていると判断する。今後も実地に加えウェブ会議システムを活用し、国内外の館に対し効果的な指導・助言を行っていきたい。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】								
<ul style="list-style-type: none"> ・ I-1-(5)-② (4館共通) 1) ・ I-1-(5)-② (九州国立博物館) 1)、 2) 								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 河野一隆					
【実績・成果】								
(4館共通)								
1) 以下のとおり、公私立の博物館・美術館等に対する援助・助言を行い、年度計画どおり事業を実施できた。								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む）(51件) ・ 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言（1件） ・ 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導（6件） ・ 講演・セミナー・審査等での協力（29件） ・ 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言（10件） 								
(九州国立博物館)								
1) 「古文書保存基礎講座」については、実習中心の講座であることから新型コロナウイルスの感染拡大状況を勘案し、4年度は実施を見送った。								
2) 11月15日、当館ミュージアムホールにて、「IPMセミナー」（主催：当館、共催：文化庁・東京文化財研究所）を開催した。月刊文化財10月号の内容を中心に、文化財の生物劣化対策や最近明らかになった新種の文化財害虫の問題など、博物館、美術館、文書館、図書館、公共団体担当者などに向けて最新の話題を提供した。現地のセミナーには132人が参加、内容紹介の動画配信視聴には、約300人が登録した。								
3) 3年度に続き、オンラインIPM相談会を、4年度についても実施した。また、館内職員向けIPM研修は、新型コロナウイルス予防対策を講じつつ2度に分け、実施した。								
								
4年度 IPMセミナーの様子								
【補足事項】								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月27日及び5月11日に館内職員向けのIPM研修を実施した（会場：当館、受講人数：計27人）。 ・ 11月15日にIPMセミナーをミュージアムホールで開催、オンラインでの動画配信もその後約2週間にわたって行った。 ・ 12月22日～5年1月27日にオンラインIPM相談会を開催した（対応施設7施設、各施設1時間ずつの枠で実施）。 								
【定量的評価】項目	4年度実績	目標値	評定	経年変化	30	元	2	3
援助・助言等の件数	97件	-	-		72	86	81	77
【年度計画に対する総合評価】		【判定根拠、課題と対応】						
評定：B		<p>4年度は、IPMセミナーを現地及びオンライン配信のハイブリッド形式により実施することができた。IPM相談会についてはオンラインで実施した。また、館内IPM研修も3年度に続き、実施できた。</p> <p>3年度に引き続き、日本全国の要請に対応し、97件の援助・助言を行い、年度計画を達成できた。</p>						
【中期計画記載事項】								
国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等に図る。								
【中期計画に対する評価】		【判定根拠、課題と対応】						
評定：B		<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した講座があったものの、4年度も全国の博物館、美術館、文書館等からの要請に応じて指導、助言を行った。今後もオンライン等を活用したセミナーや研修等を実施し、博物館・美術館関係者への援助や情報交換等を適切に進め、今まで同様に中期計画の円滑な進行に努める。</p>						